

IPA 情報処理振興事業協会 平成 14 年度未踏ソフトウェア創造事業 村岡洋一 PM  
「ユビキタスサービス利用のための自律的なソフトウェアの構築」

青木崇行（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程徳田研究室）

桐原幸彦（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程徳田研究室）

中西健一（株式会社ソキュアス IT セクションマネージャ &

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程徳田研究室）

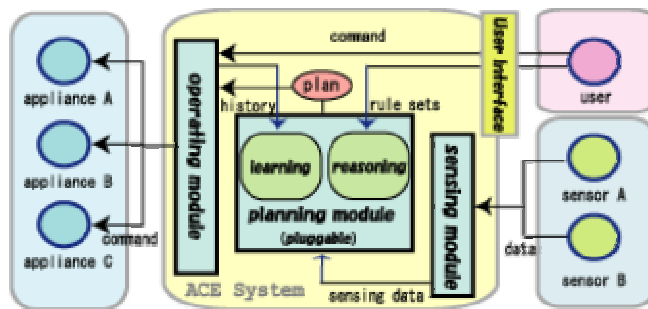
岩谷晶子（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程徳田研究室）

E-mail: ace-m02@ht.sfc.keio.ac.jp URL: <http://www.ht.sfc.keio.ac.jp/ace/>

### 成果の概要

環境に計算機器やサービスが遍在するユビキタスコンピューティング環境が現われ始めている。この環境には多種多様な機器、サービス、ユーザが存在するため、それぞれの機器・サービス利用のために必要な知識、情報、操作量などが多くなり、利用時のユーザへの負担が増加してしまう。この問題を解決するために、環境側を知的化し、ユーザの認識、判断、利用の各作業をなくすユビキタスサービス利用のための自律的なソフトウェアの構築を行った。今回のプロジェクトでは、ユビキタスサービスの具体例として、情報家電機器環境を対象とし、情報家電機器制御の際に必要な環境認識、利用判断、利用をユーザに代わり行う、ACE システムを構築した。

This project proposes an autonomic operation system for home ubiquitous computing environment that consists of heterogeneous networked devices and appliances. Recent development of networked appliances with rich functions are increasing users' burden to have premise knowledge on appliances and to perform three actions: sensing, planning, and operating. To address this home digital divide problem, we have designed and implemented ACE system which eliminates the users' burden by enabling an autonomic behavior of the home ubiquitous computing environment. ACE system is composed of four modules: sensing module, planning module, operating module, and user interface.



ACE システム全体構成図